

令和6年度 化学基礎・化学 出題の意図

この解答例は解答の一例です。ここに示された解答例の他にいろいろな表現の仕方、記述の仕方がありますので、示された解答例以外でも正答となる場合があります。

【出題の意図】

問題1

化学結合、固体の溶解度の特徴に関する基礎的知識・技能やそれらに基づく論理的思考力、表現力を問う内容としている。

問題2

電離平衡、中和滴定に関する基礎的知識・技能やそれらに基づく論理的思考力、表現力を問う内容としている。

問題3

気体の性質、化学反応の速さに関する基礎的知識・技能やそれらに基づく論理的思考力、判断力、表現力を問う内容としている。

問題4

有機化合物の分類、性質、構造の特徴に関する基礎的知識・技能やそれらに基づく論理的思考力、表現力を問う内容としている。

	1	2	3	4	5	6	7
受験番号							

8	9
4	1

10	11

(記入しないで下さい)

氏名	
----	--

令和 6 年度 化学基礎・化学解答用紙 (その 1)

問題 1

問 1

ア 非金属	イ 貴ガス	ウ 金属
----------	----------	---------

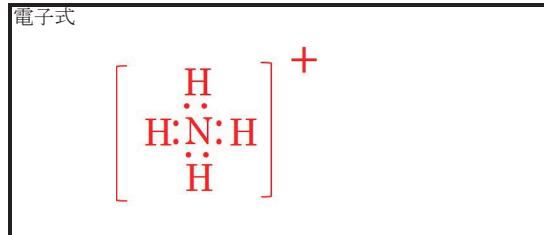
問 2 (a)

分子名	共有電子対の数	非共有電子対の数	分子の形
水	2	2	折れ線形
メタン	4	0	正四面体形
アンモニア	3	1	三角錐形

(b)

メタン	>	アンモニア	>	水
-----	---	-------	---	---

(c)



結合が形成されるしくみ

アンモニア分子の窒素原子の非共有電子対を水素イオンと

共有することにより、配位結合が形成される。

(裏面につづく)

問3 (a)

分子量が大きい分子ほど、ファンデルワールス力が大きいから。

(b)

水は分子間に水素結合を形成するが、メタンは形成しないから。

問4 (a) (i)

57

g

求める過程

$$\frac{40}{100 + 40} \times 200 \doteq 57 \text{ g}$$

(ii)

50

g

求める過程

析出した $\text{CuSO}_4 \cdot 5\text{H}_2\text{O}$ を x [g] とすると、

$$\frac{\frac{40}{100 + 40} \times 200 - \frac{160}{250} \times x}{\frac{100}{100 + 40} \times 200 - \frac{90}{250} \times x} = \frac{20}{100}$$

$$x \doteq 50 \text{ g}$$

(b)

陽イオンと陰イオンの間にはたらく静電気力が非常に強いから。

	1	2	3	4	5	6	7
受験番号							

8	9
4	2

10	11

(記入しないで下さい)

氏名	
----	--

令和 6 年度 化学基礎・化学解答用紙 (その 2)

問題2

問1

ア アンモニアソーダ (ソルベー)	イ 塩基
ウ ホールピペット	エ ビュレット

問2

説明 電離で生じる CO_3^{2-} が加水分解して OH^- を生じるから。

化学反応式 $\text{CO}_3^{2-} + \text{H}_2\text{O} \rightleftharpoons \text{HCO}_3^- + \text{OH}^-$

問3

$2\text{NaOH} + \text{CO}_2 \rightarrow \text{Na}_2\text{CO}_3 + \text{H}_2\text{O}$

問4

$\text{NaOH} + \text{HCl} \rightarrow \text{NaCl} + \text{H}_2\text{O}$

$\text{Na}_2\text{CO}_3 + \text{HCl} \rightarrow \text{NaHCO}_3 + \text{NaCl}$

問5

$\text{NaHCO}_3 + \text{HCl} \rightarrow \text{NaCl} + \text{CO}_2 + \text{H}_2\text{O}$

問6

水酸化ナトリウム 6.6×10^{-2} mol/L	炭酸ナトリウム 1.4×10^{-2} mol/L
-------------------------------------------	------------------------------------------

求める過程

混合溶液中の NaOH , Na_2CO_3 のモル濃度をそれぞれ

a [mol/L], b [mol/L] とすると,

$$a \times \frac{20.0}{1000} + b \times \frac{20.0}{1000} = 0.100 \times \frac{16.0}{1000}$$

$$b \times \frac{20.0}{1000} = 0.100 \times \frac{2.8}{1000}$$

$$a = 6.6 \times 10^{-2} \text{ mol/L}, b = 1.4 \times 10^{-2} \text{ mol/L}$$

(裏面につづく)

問7

メチルオレンジ

問8 (a)

$$K = \frac{[H^+] [A^-]}{[HA]}$$

(b)

左へ移動する。

(c)

10.52

求める過程

$$K = \frac{[H^+] [A^-]}{[HA]} \text{ より, } [H^+] = K \times \frac{[HA]}{[A^-]}$$

これに数値を代入すると,

$$[H^+] = 3.0 \times 10^{-10} \times 0.1 = 3.0 \times 10^{-11} \text{ mol/L}$$

$$pH = -\log_{10}(3.0 \times 10^{-11}) = -0.477 + 11 \doteq 10.52$$

(d)

HA	無色	A ⁻	赤色
----	----	----------------	----

	1	2	3	4	5	6	7
受験番号							

8	9
4	3

10	11

(記入しないで下さい)

氏名

令和 6 年度 化学基礎・化学解答用紙 (その 3)

問題 3

問 1 (a)

活性化状態

(b)

A	⑥	B	②
C	①	D	④

(c)

反応する分子どうしの衝突回数が増加するから。

(d)

16
倍

(e)

①, ③

問 2 (a)



(b)

9.7×10^4
Pa

求める過程
捕集した気体には水蒸気も含まれるので、酸素の分圧は
 $1.01 \times 10^5 - 4.0 \times 10^3 = 9.7 \times 10^4 \text{ Pa}$

(c)

7.0×10^{-4}
mol

求める過程 酸素の物質量を x [mol] とすると、
気体の状態方程式 $pV = nRT$ より
 $9.7 \times 10^4 \times 18 \times 10^{-3} = x \times 8.3 \times 10^3 \times 300$
 $x \approx 7.0 \times 10^{-4} \text{ mol}$

(裏面につづく)

(d)

$$2.3 \times 10^{-3}$$

mol/(L · s)

求める過程 反応開始後60秒の間に分解した過酸化水素の物質量は,
 $7.0 \times 10^{-4} \times 2 = 1.4 \times 10^{-3}$ mol

過酸化水素の濃度変化は,

$$1.4 \times 10^{-3} \times \frac{1000}{10} = 1.4 \times 10^{-1} \text{ mol/L}$$

したがって過酸化水素の分解速度は,

(e)

$$5.2 \times 10^{-1}$$

mol/L

求める過程 反応開始から60秒後の溶液中の過酸化水素の物質量は,

$$0.66 \times \frac{10}{1000} - 1.4 \times 10^{-3} = 5.2 \times 10^{-3} \text{ mol}$$

過酸化水素のモル濃度は,

$$5.2 \times 10^{-3} \times \frac{1000}{10} = 5.2 \times 10^{-1} \text{ mol/L}$$

(f)

$$3.9 \times 10^{-3}$$

s⁻¹

求める過程 $v = k [H_2O_2]$ より,

$$2.3 \times 10^{-3} = k \times \frac{(0.66 + 5.2 \times 10^{-1})}{2}$$

$$k \approx 3.9 \times 10^{-3} \text{ s}^{-1}$$

	1	2	3	4	5	6	7
受験 番号							

8	9
4	4

10	11

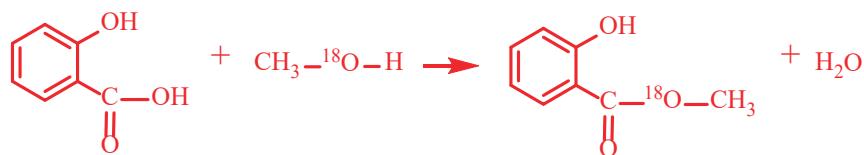
(記入しないで下さい)

氏名	
----	--

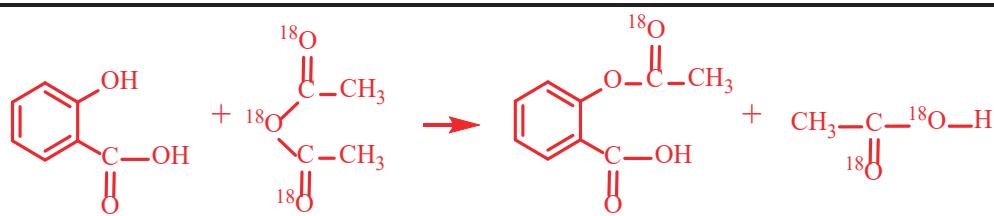
令和 6 年度 化学基礎・化学解答用紙 (その 4)

問題 4

問 1 (a)



(b)



(c)

154

問 2 (a)

C₅H₁₀

求める過程

水素と同物質量で反応するので、化合物Aはアルケンである。

$$\text{化合物Aの分子量をMとすると, } \frac{7.0}{M} = \frac{(7.2 - 7.0)}{2.0} \quad M=70$$

アルケンの分子式C_nH_{2n}=70 14n=70 n=5 化合物Aの分子式はC₅H₁₀

(b)

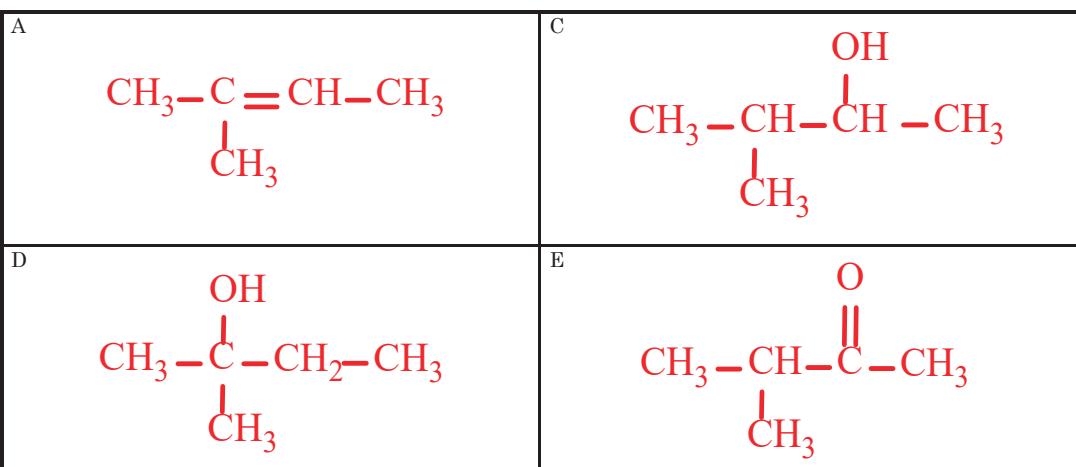
2

(c)



(裏面につづく)

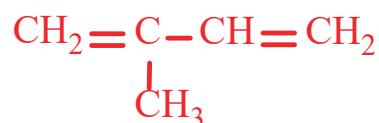
(d)



問3 (a)

ア	加硫	イ	エボナイト
---	----	---	-------

(b)



(c)

天然ゴムの分子のところどころに硫黄原子が結合して、
分子どうしを結び付ける架橋構造が生じるため。

(d)

2.2

L

求める過程

スチレンーブタジエンゴムの分子量: $(104 + 54 \times 4) \times n = 320n$
 4 molの水素が付加するので、消費する水素は

$$\frac{8.0}{320n} \times 4n \times 22.4 = 2.24 \doteq 2.2 \text{ L}$$